

和歌山県・市町村被災者生活支援システム構築業務委託に係る公募型プロポーザル評価表

採点基準
2 優れている
1 標準的である
0 不十分

○企画提案内容

機能及び要件		評価の視点	必須項目	採点(ア)			重み(イ)	配点小計(ア)×(イ)	上限配点	要求記載箇所
仕様書の内容を明確に理解しているか。提案内容は事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。		仕様で示された内容を理解し、提案内容の整合性はとれているか。	○	2	1	0	8		16	仕様書 8～9
計画の妥当性										
導入スケジュールは適当な内容であり、かつ実現可能なものであるか。		スケジュールは仕様書での要求を満たすものとなっているか。	○	2	1	0	4		8	仕様書 12
プロジェクト管理										
業務を円滑に遂行するための体制は整っているか。		管理体制は仕様書での要求を満たすものとなっているか。	○	2	1	0	4		8	仕様書 11
操作性										
職員等の利用者にとって、システム画面の遷移及び操作性等は、使いやすいものとなっているか。		・画面構成はわかりやすい物となっているか。 ・利用者(職員等)の操作性は良いか。	○	2	1	0	4		8	仕様書 9
リスク・品質管理										
セキュリティ対策、障害発生時のシステム維持方策、及び通常時・災害時を問わない継続的なシステム性能維持の観点を含め、その方策は妥当かつ適正であり、可能な限りサービスを中断せずに運用可能であるか。		・セキュリティ対策は十分か。 ・安定稼働性において仕様書の要求は満たしているか。	○	2	1	0	4		8	仕様書 10(1)～(4)
導入支援										
システム使用職員に対する説明会の実施方法や回数、マニュアル作成等の導入支援についての提案は妥当なものであるか。		・説明会等の開催方法は具体的かつ適当な提案がされているか。 ・マニュアル作成の提案は、当県の事情や要望を反映可能なものとなっているか。	○	2	1	0	4		8	仕様書 10(5)
試験運用等の提案は、円滑な導入を達成するために、適当な内容であり、かつ実現可能なものであるか。		・システム間の連携や研修会に必要な試験環境が提供されているか。	○	2	1	0	4		8	仕様書 10(5)
導入後のサポート体制										
導入後のサポートは、円滑な運用のための十分な体制が確保されているか。		・災害時及び導入後のサポート体制は整っているか。 ・職員からの質疑に対応する窓口等の体制は整っているか。(問合せ方法、対応時間等)	○	2	1	0	4		8	仕様書 10(5)
運用維持費等										
運用開始後の固定費用及び取扱件数に伴う追加費用は、長期的な視点において費用対効果が適切であり、総合的なランニングコストが低廉であるか		・初期導入費用と運用開始後の費用を含め、長期的な視点での総合的な費用対効果が優れており、初期費用を過度に抑えることでランニングコストが高額になる費用体系となっていないか。	—	2	1	0	4		8	
独自提案										
仕様書の要求に加え、追加の提案があり、その内容は和歌山県にとって有益なものであるか。		・当県の定める仕様書にない有用な提案があるか。	—	2	1	0	2		4	

○企業の業務実績

導入実績										
国、地方公共団体又は民間企業・団体等への導入及び運用の実績が複数あり、業務遂行に十分な経験を有しているか。		・実績に応じて配点する。	—	2	1	0	4		8	

○本業務の受託費用

導入コスト										
見積金額は、提案内容に見合った金額となっているか。		・提案をもとに配点する。	—	【計算式】 8×(公募参加者の最低提示額÷提示額)) ※小数点以下四捨五入					8	

最終評価点計

	100
--	-----